

第2次総合振興計画に関する意見・提言

資料2

○第1回審議会(H28.9.29開催)での意見・提言

番号	意見区分	意見内容等	対応状況等	備考
1	基本計画	健康・福祉部会において、在宅医療の充実を項目に入れていただきたい。	在宅医療は必要なテーマであり、部会で個別事業等を協議・検討してまいります。	第4部会(健康・福祉)
2	基本計画	第2次総合振興計画を考えるうえで、これまでの5年間、10年間でどうだったということも具体的に説明していただければ、今後の方針を作るうえで参考になる。これまでの成果と現在ある問題を明らかにしてほしい。	第1次総合振興計画の各施策の成果や現状、問題点については、今後の部会で説明してまいります。	全部会
3	基本構想 将来都市像	まちづくりのテーマについて、この10年の間に変わってきた「北陸新幹線の開業」の視点を入れれば、良い文面になる。	まちづくりテーマの説明に、北陸新幹線開業について追記します。	
4	基本構想 将来都市像	まちづくりのテーマはインパクトが非常に大事であると思う。自然は黒部市にとっては外せないと思う。またアンケート結果を踏まえるなら、自然を押しテーマがよいと思う。	貴重な意見として、参考にさせていただきます。	
5	基本構想 将来都市像	みんなの言葉になる、みんなのテーマ、市民のためにという視点を考えられるとよいと思う。	貴重な意見として、参考にさせていただきます。	
6	基本構想 将来都市像	黒部市が力を入れている「ジオパーク」の言葉を、説明書きかテーマにいれていただきたい。黒部の自然はすごく良いものであり、もう少しアピールしたい。また平野部の水をアピールしたうえで、地域の活性化に結び付けられればよいと思うので、そのような言葉やニュアンスが入ればよいと思う。	まちづくりテーマの説明に、自然に関するエッセンスを追記します。	
7	基本構想 将来都市像	ジオパークは良いと思うが、県東部9市町村で取り組んでおり、黒部市だけがやっているのなら特徴になるが、そうではないので、テーマに入れるのは難しいと思う。エッセンス、考え方をに入れていくのがよいと思う。	まちづくりテーマの説明に、自然に関するエッセンスを追記します。	
8	基本構想 基本理念	基本理念の説明に「成長発展」とあるが、これからは、バランスよく、質を高めながら発展していくのが良く、「調和的発展」がよいと思う。	意見を参考に文章表現及び構成を見直します。	
9	部会の構成	部会の構成は、第1次総合振興計画と策定時と変更ないか。また部会を兼ねるという体制は考えられないか。	第1次総合振興計画策定時の部会構成とは、構成団体が違うことから、必ずしも一致しません。部会の構成にあたっては、所属される団体と関係の深い部会に配属させていただいております。	
10	諮問書 基本構想	超高齢化社会にどのように立ち向かっていくか、どう助け合いをしていくかが、全体的に希薄に感じる。テーマのところにも、人という言葉が少ないと思っており、人のぬくもりや助け合いというところを、構成全体に押し出していきたい。まちが生き生きとするためには、人が生き生きとしていなければならないというところが重要だと思う。	超高齢化社会を迎える中で、生涯に渡って元気で活躍できるような取り組みについて、部会で協議・検討していきます。その中では、人の温もりや心に関する視点を反映できればと考えています。	全部会

第2次総合振興計画に関する意見・提言

○第1回審議会以降の意見・提言

番号	意見区分	意見内容等	対応状況等	備考
11	意見・提言書 基本計画	<p>《地域福祉推進の拠点となる施設設置について》</p> <p>黒部市福祉センターは建設から40年近く経ち、施設の老朽化による修繕費の増加がみられる。また社会福祉の課題の多様化、市民ニーズの変化などに応えることが求められている。「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」の実現には、今後求められる機能の変化に対応し、市民ニーズに合った地域福祉推進の拠点となる施設を整備することが必要と考えている。</p>	<p>ご意見を踏まえながら、今後の地域福祉推進の新たな拠点のあり方について、部会で協議・検討していきたいと考えています。</p>	第4部会(健康・福祉)
12	意見・提言書 基本計画	<p>《小地域での福祉活動推進と人材育成》</p> <p>国の施策でもある地域包括ケアシステムの実現を目指す方向が示される中、今後は中央の拠点にたくさんの人を集める形から地域を拠点とした小さな集まりをたくさんつくり出していく形に変化していくことが予想される。現在は、中央の拠点、地区、地域でそれぞれ活動の場や事業が実施されているが、今後に必要な中央拠点の機能は、地区(16地区)や地域(130町内)の活動を間接的に支援し、下支えしていくことが必要となってくる。地区や地域での活動を実施するためには、必然的に活動者や支援者を増やしていく必要があり、ボランティアや活動の中心となる地域リーダーなどの担い手を創出していくことが必要であり、人材の育成が急務である。担い手の掘り起こしと人材育成は、拠点、地区、地域が一体となって取り組むべき課題であり、中央拠点では「学びの場」をつくり、新しい担い手を発掘する機能を充実し、地区や地域などでは活動を通して人材を育成していくという役割分担が必要となってくる。また、福祉専門職や援助者は、福祉サービスを提供する担い手として質の担保や向上を図ることも必要でもある。</p>	<p>地域での福祉活動推進と人材育成に必要な事業メニューや個別事業について、部会で協議・検討していきたいと考えています。</p>	第4部会(健康・福祉)
13	意見・提言書 基本計画	<p>《市民の健康寿命(健康づくり)について》</p> <p>平成13年時の日本人の平均寿命は男性80.21歳、女性86.61歳に対し、介護を受けたり寝たきりになったりせず、日常生活を送れる期間を示す健康寿命は男性71.19歳、女性74.21歳で、平均寿命との差は男性が9.02年、女性が12.4年であり、これが黒部市にあっては、さらにその差が大きいと伺っています。健康で長生きすることは、市民誰もの願いであります。高齢化が進む中、市民の健康寿命を1年あるいは2年と延ばすための施策等を取り上げていただきたいと思っております。</p>	<p>住民参加型の健康づくりの推進など、健康寿命の延伸に必要な事業メニューや個別事業について、部会で協議・検討していきたいと考えています。</p>	第4部会(健康・福祉)